

ふかめる

地球ひろば

ともに つくる ぼくらの未来

協力: JICA (ジャイカ)
https://www.jica.go.jp/hiroba/

ウガンダ①



今週のリポーター

■磯田晴香さん……2016年6月から18年6月までJICA青年海外協力隊としてアフリカのウガンダに派遣。首都カンパラから1時間ほどのヌデジェ村のナリニャルワンタレ小学校で、主に算数と体育を現地教員と一緒にしています。他に教員向けのワークショップや、クラブ活動(アルティメット※)も。休日は子どもたちと体を動かして遊んだり、先生とのんびりおしゃべりを楽しんだりしています。



カトウシャビエ ステラ Katushabe Stellah さん (小字5年・10歳)

夢

お医者さんになりたいです。家族が病気やけがをしてしまったら、自分で助けられるからです。

家族

9人家族で、3人の兄と3人の妹がいます。家族で日用品を売るお店を営んでいます。私の学費を払ってくれて、おいしいご飯を作ってくれる両親が大好きです。



ポショに豆のスープの給食。全学年集まって、手を使って食べます



授業参観で得意な算数の発表をした時の一枚

ガンダ語

オリオチャ? Oliotya?

こんにちは

休み時間

アルティメット(※)と長縄跳びをしていて、最近は8の字で跳べる回数を5年生と競争しています。おやつを食べて、好きなだけ遊べる休み時間が一日で一番好きです。



休み時間の長縄。高学年が先生となって、いろいろな学年の友達と楽しんでいます

※アルティメット……バスケットボールとアメリカンフットボールを合わせたような競技で、ボールではなくフライングディスクを使います。

日本のこと

日本のお寺と神社に行ってみたいです。みんなで楽しく歌う私たちの教会とは雰囲気や先生が教えてくれました。いつか自分の目で確かめに行きたいです。

食べ物

サモサ(豆と野菜の入った揚げもの)が一番好きです。給食のポショ(トウモロコシ粉を練ったもの)も好きなので、給食の時間が楽しみです。

日本語

自分と友達の名前、学校、食べ物などは書けるようになりました。ひらがなをもっと練習して、日本から届いた手紙を自分で読んで返事を書きたいです。

教科

一番好きなのは算数だったけれど、今年から体育が始まって今は体育が一番になりました。社会科が一番苦手です。低学年の時にたくさん練習したので字がきれいだと先生によくほめられます。

大切なもの

おうちが一番大切。いつでも私を受け入れてくれるし、大好きな家族が待っています。私は寮生なので、学期終わりの家に帰る日は、お迎えが待ちきれません。

寮生活

私は寮生で学期中は朝の補習から夜の補習、寝る前のお祈りまで友達と過ごします。夜は家族を思って寂しくなることもあるけれど、遊んだりおしゃべりしたり友達との時間はとっても楽しいです。



各寮には寮母さんがいて、時に厳しく子どもたちを見守ってくれます。学校のお母さんと慕われています

私の名前は「ナンチャ」

私がウガンダに来てうれしかったことの1つがウガンダの名前をもらったことです。「ナンチャ」という名前を私にくれたのは校長先生で「これであなただけの家族よ」と言ってくれました。ウガンダのことをあまり知らなかった私は単純に「家族のように思ってくれてうれしいな」と思っていたのですが、ガンダ族の彼らにとって名前を付ける行為はとても意味のあるものでした。ウガンダには56の民族があり、ガンダは最大の民族です。ガンダの人々はだれでも52あるクリン(氏族)のいずれかに属しています。クリンにはそれぞれ意味があり、動物や

植物、昔の女王などさまざまです。子どもに付ける名前もクリンごとに複数決まっているので、名前からのクリンに属するのかわ推測することもできます。校長先生が属するクリンは「マンバ」。魚の一種だそうです。



同じクリンの子どもたちは血がつながっていきなくても家族のように特に仲良し

学校内には同じクリンの子どもが多いです



ガンダにとって同じクリンに属するということは「家族」を意味し、たとえ直接血がつながっていても「家族」として扱われ、一緒に住むことも珍しくありません。このガンダの文化のおかげで、娘やきょうだいのように接してくれるウガンダの人が、校長先生だけでなく、私の周りにたくさんいます。彼らの存在に助けられながら、毎日楽しく過ごしていきます。